

# 垂直条件 $mm' = -1$ の6つの証明

いけだ よういちろう  
池田 陽一郎

## §0. はじめに

2直線の垂直条件  $mm' = -1$  の証明は教科書では、①三平方の定理 で示されている。もっとわかりやすい方法はないかと考えたのが、②ベクトル ③行列 ④合同 ⑤複素平面 を使ったものである。さらに教科書では、⑥相似 を使ったものもある。私の証明は②～⑤の4つであるが、④は特に本質をついていてわかりやすく、⑤は新教育課程でもおもしろく捉えることができるので、お勧めである。③行列は新課程ではなくなるが、これもおもしろい考え方である。

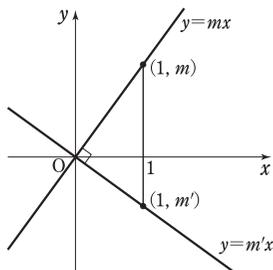
## §1. 2直線の垂直条件 $mm' = -1$

2直線  $y = mx$  と  $y = m'x$  が垂直ならば  $mm' = -1$  が成立する。また逆も成立する。

というのが垂直条件である。これは、解析幾何的要素が強いが、他の分野からも考察することができる。

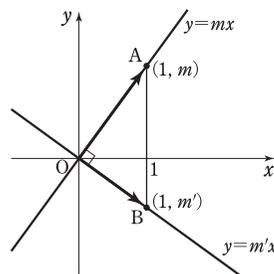
## §2. 垂直条件 $mm' = -1$ の証明

### ① 三平方の定理の利用



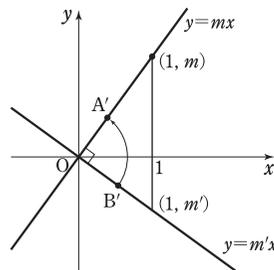
$$\begin{aligned} (1^2 + m^2) + (1^2 + m'^2) &= (m - m')^2 \\ 2 + m^2 + m'^2 &= m^2 - 2mm' + m'^2 \\ \therefore mm' &= -1 \end{aligned}$$

### ② ベクトルの利用



$$\begin{aligned} 0 &= \overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB} \\ &= (1, m) \cdot (1, m') \\ &= 1 + mm' \\ \therefore mm' &= -1 \end{aligned}$$

### ③ 行列の利用



$OA' = OB' = 1$  とし  $B'$  を  $90^\circ$  回転して  $A'$  に移動させたと考えたと

$$\begin{aligned} \frac{1}{\sqrt{1+m^2}} \begin{pmatrix} 1 \\ m \end{pmatrix} &= \begin{pmatrix} \cos 90^\circ & -\sin 90^\circ \\ \sin 90^\circ & \cos 90^\circ \end{pmatrix} \frac{1}{\sqrt{1+m'^2}} \begin{pmatrix} 1 \\ m' \end{pmatrix} \\ \frac{1}{\sqrt{1+m^2}} \begin{pmatrix} 1 \\ m \end{pmatrix} &= \begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix} \frac{1}{\sqrt{1+m'^2}} \begin{pmatrix} 1 \\ m' \end{pmatrix} \\ \frac{1}{\sqrt{1+m^2}} \begin{pmatrix} 1 \\ m \end{pmatrix} &= \frac{1}{\sqrt{1+m'^2}} \begin{pmatrix} -m' \\ 1 \end{pmatrix} \end{aligned}$$

$x$  座標を比較すると

$$\frac{1}{\sqrt{1+m^2}} = \frac{-m'}{\sqrt{1+m'^2}}$$

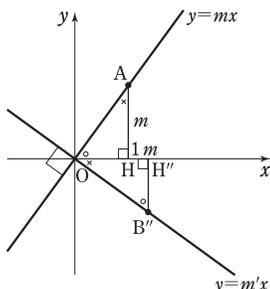
$$\frac{1}{1+m^2} = \frac{m'^2}{1+m'^2}$$

$$1+m'^2 = m'^2(1+m^2)$$

$$1 = m^2 m'^2$$

$$\therefore mm' = -1 \quad (\because m > 0 \quad m' < 0)$$

④ 合同の性質を利用



OH=1, OH'=m とすると

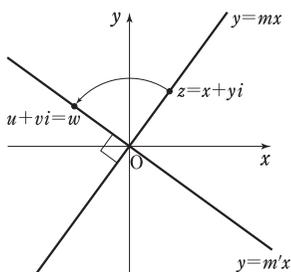
$\triangle OHA \cong \triangle B'H'O$  より,  $B'H'=1$  となる。

直線  $y=m'x$  の傾きは

$$m' = \frac{-1}{m}$$

$$\therefore mm' = -1$$

⑤ 複素平面の利用



複素数  $z$  を  $90^\circ$  回転させると  $w$  の位置にくる。このとき

$$w = iz$$

と表せる。

$$\left( \because \arg w = \arg iz = \arg i + \arg z = \frac{\pi}{2} + \arg z \right)$$

$$\text{したがって } u + vi = i(x + yi)$$

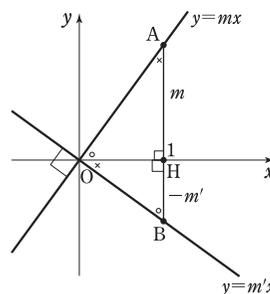
$$u + vi = -y + xi$$

$$\therefore u = -y, \quad v = x$$

ところが  $v = m'u$  より ( $y = mx$  でもある。)

$$x = m'(-y) = -m'mx \quad \therefore mm' = -1$$

⑥ 相似の性質を利用



$\triangle OHA \sim \triangle BHO$  より

$$\frac{m}{1} = \frac{1}{-m'}$$

$$\therefore mm' = -1$$

§3. おわりに

垂直条件  $mm' = -1$  の証明は、とりあえず6つ得られたが、どの証明も意味があると思う。しかし、その中でも④の三角形の合同を使った証明は、傾き  $m'$  を直接求めたものであり、直観的にも非常にわかりやすいので、生徒たちに示すときはとてもいいものだと思う。初等的であるが本質的であるという意味では、お勧めである。また、③は高校生の視野から外に出るが、⑤の複素平面は、これからの高校生には新鮮であろう。

《参考文献》

[1] 数学Ⅱ 数研出版 2003

(東京都立永山高等学校)